

1 学科及びSSH事業の目的

(1) 総合理学科の理念

- ・実践的コミュニケーション能力
- ・自然科学における広い視野と創造性
- ・社会性と倫理観

⇒ 国際社会で活躍する自然科学に強い人材の育成

(2) SSH事業 … 全てのプログラム(カリキュラム)

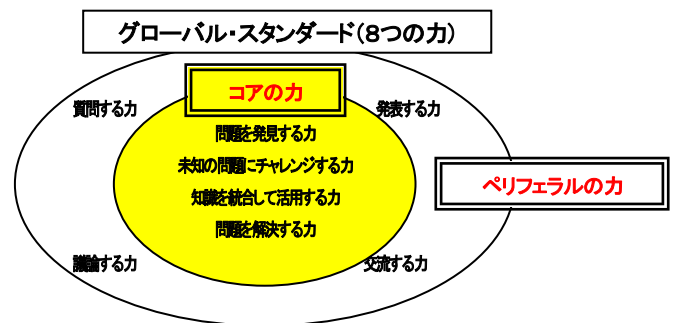
で8つの力を育成する

「グローバル・スタンダード(8つの力)」

= 国際的に活躍するために必要な力と定義

⇒ 「コアの力」と「ペリフェラル*の力」

*周辺領域のこと



2 課題研究について ※以下は今までのものです(変更は例年あります)

(1) 位置づけ

- ① 総合理学科を特徴づける科目の一つで、最も力を入れている科目(全員の8つの力が大きく伸張する)
- ② 教科「理数」 科目「課題研究」 理数科の専門科目として実施(理数科の必修科目)
- ③ 平成17年度から実施(当時は普通科総合理数コースで実施、H20年度から総合理学科)

(2) 実施形態・その他

- ① 2学年で、1.54コマ(100分)で実施
月曜日の6校時(15:10~16:50)、放課後までしばしば延長。土・日・祝、長期休業中も研究を進める。
- ② 担当教員 数学科から2名、理科から5名(物理・化学・生物)、家庭科1名 合計8名
- ③ 研究テーマごとにグループを作る。(グループ研究) *キーワード: 他者との協働
- ④ SSH事業予算でも消耗品、備品、旅費、図書などの費用を補助

(3) 課題研究の実際・テーマ設定の方法と課題研究の流れ

① テーマ設定 ⇒ 自分たちでテーマを決定する *キーワード: 主体的・自主的

自分の研究したいテーマをプレゼン 仲間を説得しよう。テーマの決定→グループ形成

グループごとに担当教員を配置

設定や活動計画はメンバーで討議し、担当教員と相談し決定する。以降、生徒主体に研究活動を進めていく。但し担当教員の承諾は必須。

② 課題研究の1年間の流れ

1年3学期[活動開始まで]

研究室訪問 課題研究を行っている2年生を訪問し、各グループから課題研究について説明を受ける。

課題発見講座 「神戸高校 課題研究」の概要説明 (本時) 論文検索

課題研究に向けて テーマ設定のためのディスカッション グループ編成開始

課題研究希望調査(第1回) 研究内容と大きなカテゴリー(物・化・生・地・生活科学・数学・他)を調査

2年[1学期] 課題研究希望調査(第2回) 希望する具体的な研究内容を調査

希望調査をもとづいたグループディスカッション→研究テーマの決定 (担当教員の配置)

→ 研究グループの決定 → 各グループで活動開始

基礎知識の修得、予備実験、野外調査、研修会や外部コンテスト・発表会に参加、大学訪問等

7月中旬 プロGRESSレポート(口頭発表、研究の進捗状況の報告)

[2学期] 本実験 → **11月 中間発表会**(ポスター発表) → 追加実験

[3学期] 1月プレゼン特別講義(全員参加) → 1月下旬 論文(A4判4ページ)、ポスターとスライド作成

→ 2月上旬 サイエンスフェア in 兵庫に参加(3~4班が発表)

課題研究発表会(口頭発表) ※最優秀班は、8月のSSH生徒研究発表会(横浜)で発表

→ 3月中旬 要旨を作成SSHのWebページに掲載、英語ポスター作成

(4) 第3学年で発表活動

- ① 校内での発表活動(必須) … 文化祭(ポスター)での発表、総合理学科説明会(夏季休業中)での発表
- ② 校外での発表活動(1回以上必須) … 学会や大学などでの発表会、SSH生徒研究発表会(8月)等
- ③ その他 … 自主的に研究を継続することもできる[研究費、旅費の補助]

<取り組み例>

神戸高校 「課題研究」 研究テーマ一覧

●2005年度(平成17年度)

- *熱センサーの研究
- *波動の研究
- *色と光の研究
- *気象衛星からの電波の受信
- *標本からわかること
- *ケイ藻を指標とした神戸市内の河川水質調査
- *円周率π(パイ)
- *フィボナッチ数列の研究

●2006年度(平成18年度)

- *部分モル体積の測定
- *組織培養を用いたマヤランの増殖
- *魚と環境
- *昆虫の体成分が細胞分裂に及ぼす影響について
- *波動の研究
- *色素増感型太陽電池の受信
- *Linuxによるネットワーク研究
- *あなたに潜むカオスとフラクタル

●2007年度(平成19年度)

- *3次、4次方程式から5次方程式へ
- *粘菌の走性
- *土壌細菌の単離とその性質
- *アリの研究
- *神高数学問題創作
 - Creation of mathematical problems-
- *水蒸気蒸留によるクスノキの葉に含まれる樟腦の分離
- *色素増感型太陽電池の研究
 - その発電効率を増大させる条件について-
- *波動の研究-場所による音の及ぼすエネルギー
- *外的な環境におけるミドリムシの反応
- *吸着の研究

●2008年度(平成20年度)

- *一次元セルオートマトンの新クラス分類
- *二次元セルオートマトンの音楽転換
- *セルオートマトンによる渋滞のモデル化
- *複雑系の科学
- *Linux サーバの構築とインターネットを経由した利用に関する研究

- *定性的・定量的手法を用いた水波の研究
- *波動の研究 特殊なドップラー効果の測定
- *万有引力定数Gの測定
- *空気中のCO₂からダイヤモンドが合成できるか
 - ~デンプン利用の可能性~
- *ミドリゾウリムシとクロレラの細胞内共生
- *DNA 解析によるメダカの遺伝子多型の研究

●2009年度(平成21年度)

- *疑問を検証する
 - 数学を利用した新しい暗号方式の研究-
- *疑問を検証する -だまし絵の研究-
- *数理生態学/感染症モデルの構築と数学的考察
- *兵庫県に生息するメダカは均一な集団か?
- *特定外来生物アルゼンチンアリの港島への侵入
 - 人類とアルゼンチンアリの果てしない戦い-
- *単成火山のアナログ実験
 - ~笠山の観察とモデル化~
- *セルロースを用いたバイオエタノールの生成
 - 腐敗処理による変換効率の向上-
- *天然色素を使用した色素増感型太陽電池の劣化に関する研究 -チタニア膜における色素の分解と光照射の関係について-

●2010年度(平成22年度)

- *不可視な拡散現象の謎に迫る
 - ~Excel VBA による口蹄疫シミュレーション~
- *ケータイで見る緊急時連絡システムの構築と運用実践
- *碎波の研究
- *付加体のアナログ実験
- *グルコース燃料電池の褐変反応と劣化
- *立体周期表の作成
- *兵庫県産ノジギクの地域間変異およびイェグクとの比較に関する総合的研究
- *兵庫県に生息するメダカは均一な集団か

●2011年度(平成23年度)

- *フィボナッチ数列と黄金比
- *「集合算と集合方程式」「ベクトル演算」
- *成層火山の成長、壊崩、再生
- *超指向性スピーカーについて

- *植物の成長と「音」
- *色素増感太陽電池に関する研究
- *メダカの地域区分とその系統

●2012年度(平成24年度)

- *自律型ロボットの制御プログラムの考察と検証
- *最適採餌行動をみる流行現象の分析
- *数理モデルによる人間行動の分析
- *日本列島はどのように折れ曲がったのか
- *立ち上がり動作の動力学的分析
- *ヒト腎臓細胞に対する抗がん剤の効果について
- *マクロファージの食作用に対する放射線の影響
- *遺伝子解析と果実の外部形態からみたタンポポの個別調査
- *神戸市周辺地域に生息するカタツムリの遺伝的解析

●2013年度(平成25年度)

- *日常生活における対立と協調-ゲーム理論に基づいて-
- *防波堤の構造の違いによる消波実験
- *糖の塩基反応について-異性化による希少糖の生成法の模索と生成された物質の解析-
- *自作風洞実験器を用いた空気の流れの可視化
 - ~紙飛行機の形状と空気の流れ~
- *15 デオキシシ-Δ12、14-プロスタグランジン J2 はトポイソメラーゼ II 阻害剤の抗癌作用を亢進する
- *肺がんと喫煙の関係
- *土壌動物と環境
- *神戸市市域に生息するハナダカダンゴムシの DNA 解析

●2014年度(平成26年度)

- *カワムツの食性を多角的に考察する
- *学習に最適な色とは?
- *茹で時間によるビタミンCの量的変化
- *「破壊の科学 (Distribution of Fractal)」
- *土砂災害モデルの製作
- *発信器の配列による指向性スピーカーの性能
- *歪像画の射影変換
- *野菜や植物でカビの繁殖を抑制
- *地衣類から新抗菌物質を見つける
- *マイマイ(柄眼目)の分類にはどの遺伝子領域が有効か?

2月9日(火)	英語ポスター作成	科学英語との連携
2月16日(火)	科学英語発表会	科学英語との連携
2月19日(金)	SSH 特別講義 ※放課後	SSH とものづくり(全員出席)
2月23日(火)	課題発見講座	課題研究に向けて、先行研究の検索等
3月特編中	課題発見講座(予定)	課題研究のグループ分け及びテーマ設定
3月20日(日)	神戸大学ポートアイランドキャンパス	Science conference in Hyogo 英語でのポスター発表